

会議の開催結果

1 会議名	第6回 新居浜駅周辺まちづくり協議会
2 開催日時	平成28年1月15日（金） 14時30分から16時12分まで
3 開催場所	新居浜市保健センター 3階 大会議室
4 会議の概要	<p>新居浜駅周辺のまちづくりについて協議を行っていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回のまとめ ・各会、市民の方々からいただいた意見の紹介 ・整備計画（案）の検討について ・今後の予定
5 公開（全部・部分）・非公開の別	公開（全部）
6 部分公開又は非公開の理由	
7 傍聴人数	0人
8 問い合わせ先	<p>（担当課名）都市計画課 （電話）65-1270 （内線 2435）</p>
9 その他	

第6回 新居浜駅周辺まちづくり協議会次第

日 時：平成28年1月15日（金） 14時30分から
場 所：新居浜市保健センター 3階 大会議室

開 会

- 1 前回のまとめ
- 2 各会、市民の方々からいただいた意見の紹介
- 3 整備計画（案）の検討について
- 4 今後の予定

閉 会

新居浜駅周辺まちづくり協議会 委員

H28.1.15 (第6回)

No.	区 分	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	学識経験者	愛媛大学大学院	教授	吉井 稔雄	
2		愛媛大学	名誉教授	鈴木 幸一	
3	関係事業者又は 団体の者	(一社)新居浜市医師会	会長	中山 恵二	
4		(一社)新居浜市観光協会	専務理事	鎌田 眞太郎	
5		四国旅客鉄道(株)	総合企画本部 担当部長	長戸 正二	
6		新居浜商工会議所	観光まちおこし 委員会委員長	妹尾 次郎	
7		新居浜市女性連合協議会		内田 いより	
8		(公社)新居浜青年会議所	理事長	篠原 大蔵	
9		新居浜市農業委員会	農地部会長代理	篠原 修	
10		新居浜市農業協同組合	常務理事	曾我部 英敏	
11		新居浜市福祉施設協議会	副会長	住友 裕美	
12		松木坂井自治会		相原 悦滋	
13		新居浜市連合自治会	副会長	坂上 公三	
14	公募	市民公募委員1		多田羅 弘美	
15		市民公募委員2		白石 哲也	

新居浜駅周辺まちづくり協議会

第6回

目 次

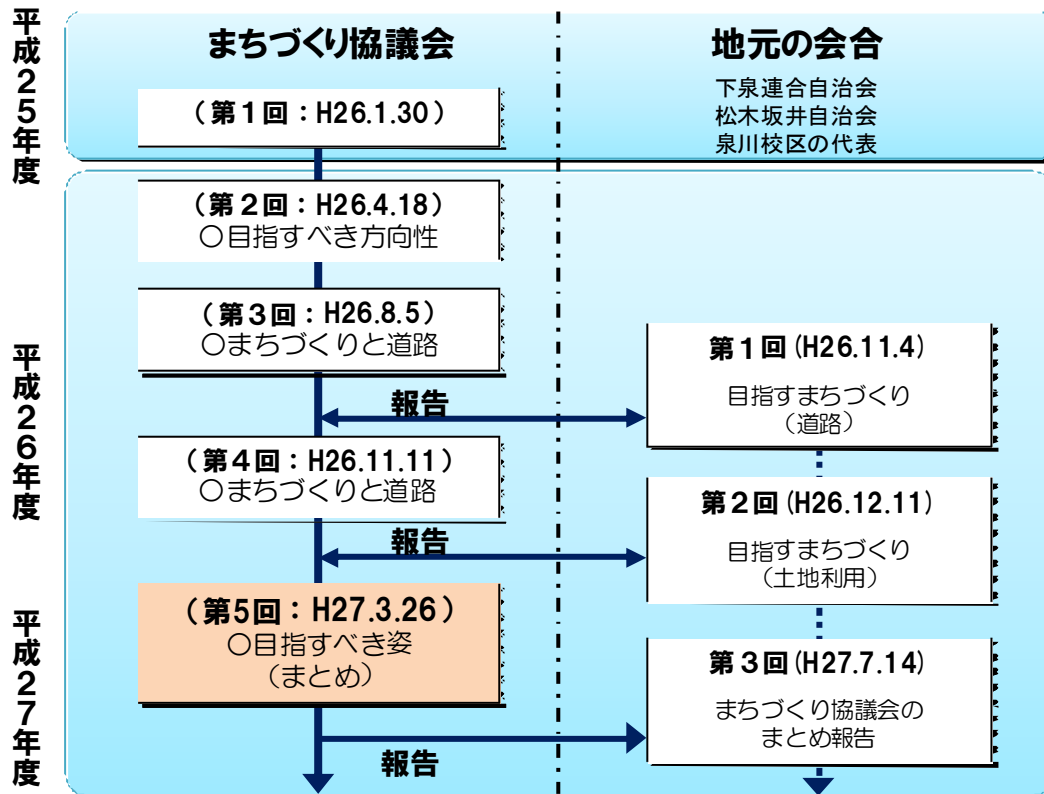
I. 前回(第5回)のまとめ	1
II. 各会、市民の方々からの意見	5
III. 整備計画(案)について	5
IV. 今後の予定	6

平成28年1月15日

I. 前回（第5回）のまとめ

これまでの協議会の流れ

これまで5回の協議会を開催いたしました。第5回目では、それまでの協議会で議論したまちづくりの方向性として、取りまとめをいたしました。

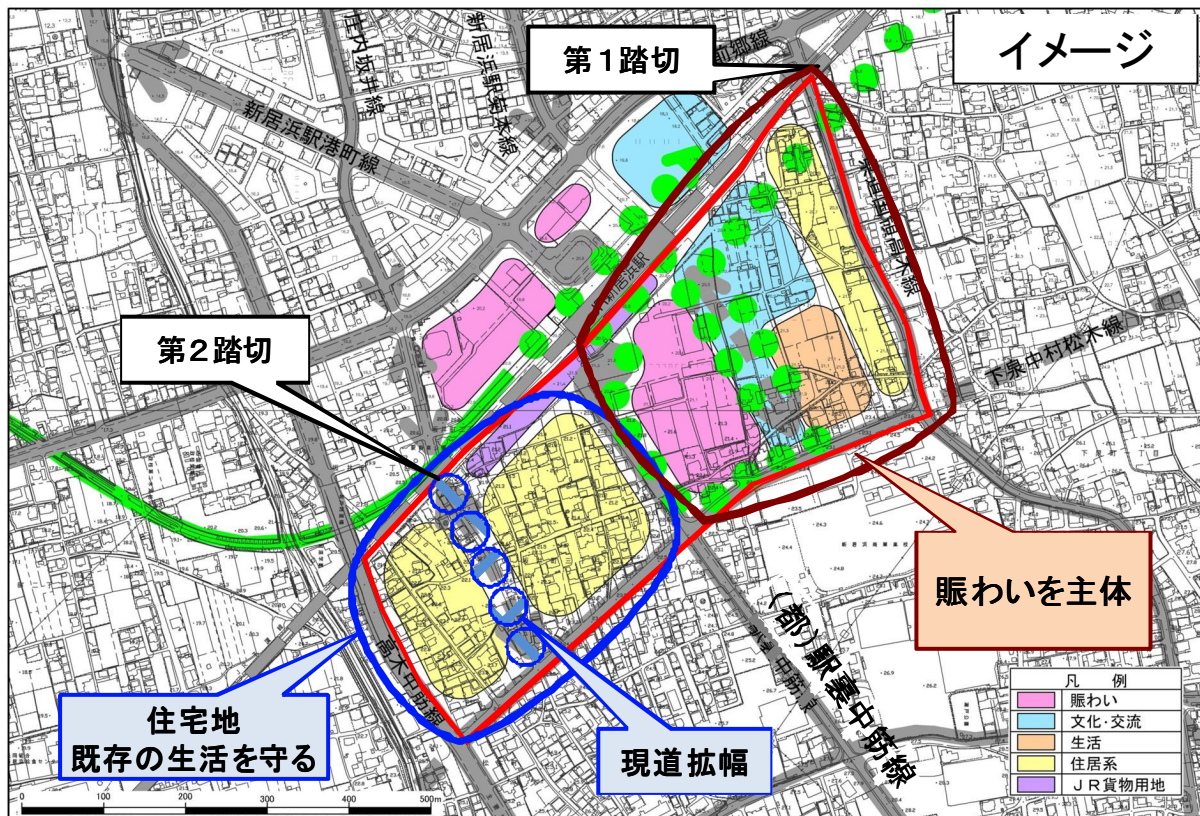


第5回までのとりまとめ

- ① 土地利用について
 - 1) (都) 駅裏中筋線より西側
 - ・住居系を維持
 - ・(市) 宗像筋線の拡幅
 - 2) (都) 駅裏中筋線より東側
 - ・賑わいを主体とした土地利用
- ② (都) 新居浜駅菊本線の延伸について
 - ・事業実施は慎重に判断（用地は確保）
 - ・歩行者等の通路は確保
 - ・踏切の渋滞緩和施策
- ③ JR貨物の貨物ヤードについて
 - ・まちづくりの観点からは、現状維持。

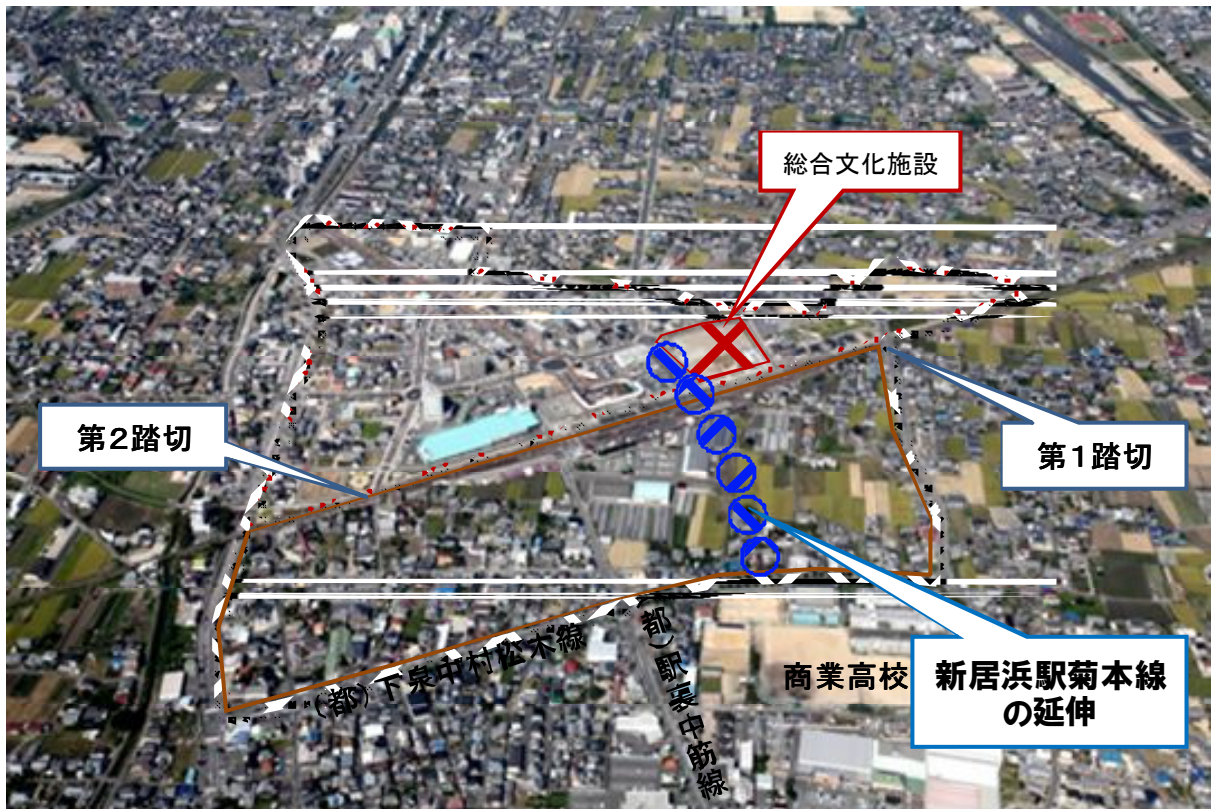
①土地利用について

- 1) 検討地区の西側については、現在の土地利用形態を維持するとともに、(都)庄内坂井線を延伸し、南北市街地の連携を図っていく。
- 2) 検討地区の東側については、「賑わい」を主体とした土地利用を図り、JR新居浜駅の来訪者が滞留・休息できるおもてなしの玄関口として賑わいの創出を図る。



②新居浜駅菊本線延伸について

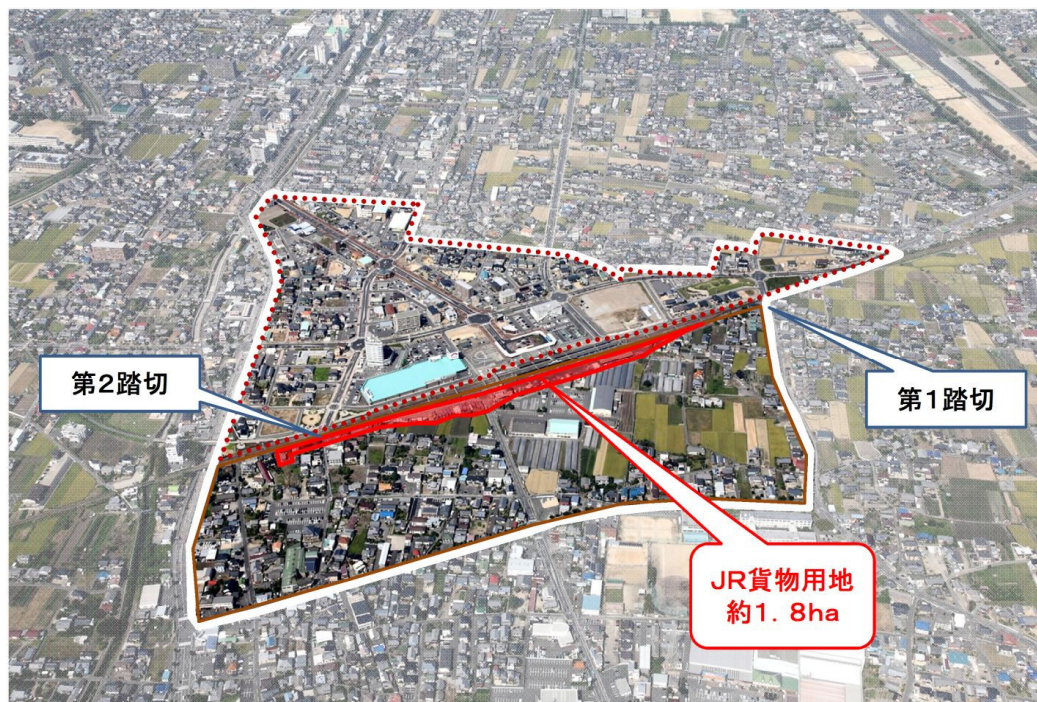
(都) 新居浜駅菊本線の延伸の必要性については、アンダーパスによる土地利用の分断や通過交通の流入、建設コスト等、多くの課題があるため、実施については慎重に判断する必要がある。ただし、将来性を考慮し、該当用地は確保する。



<アンダーパスによる効果等>

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・通過交通がスムーズ 駅周辺を通過する南北交通がスムーズになる。(駅裏中筋線への接続も視野に入れることができる。) ・交通渋滞の緩和 第一踏切、第二踏切の渋滞緩和。危険性の減少 ・南北一体的な利用 歩道整備により駅周辺の一体化も図れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区分断 道路の東西で、地区が分断される。(駅北側(総合文化施設部)も) ・土地利用の障害 土地利用の制限が多くなる。(ルートによると形状も悪くなる。) ・通過のみ 駅南地区は通過するのみとなり、賑わいの創出にはつながらない。(住環境も悪くなる場合がある。) ・費用高い 建設費が非常に高く、それに対する効果が少ない。

③JR貨物の移転について



- ・ JR貨物が駅南の発展を阻害している。

貨物自動車（トレーラー）の出入りが、賑わいとは合わない。
（危険）

駅南地区の賑わい創出を、JR貨物が阻害している。
（景観、土地利用）

- ・ 踏切遮断時間が長い

貨物列車が「本線」と「貨物専用の引き込み線」の間で入替を行うときに、第1踏切及び第2踏切を遮断する。

貨物列車の入替時の踏切遮断は、通常の通過列車時と異なり、1回当たりの遮断時間が長い（5分程度）。そのため、円滑な道路交通に支障が生じている。



JR貨物の貨物基地の建設位置など、物流方面からの観点も必要。
将来構想として、長期的な視野で検討する。

Ⅱ. 各会、市民の方々からの意見

第5回目でとりまとめた協議会のまとめ

第5回目で取りまとめた案を、地元の会合、市議会、政策懇談会、11月29日に開催いたしました「新居浜駅周辺のまちづくりフォーラム」において、皆さんに説明し、意見をいただきました。

意見を取りまとめたものを、資料p 1～4に示します。

Ⅲ. 整備計画（案）について

皆さんの意見を基に、今後、少し踏み込んだ整備案を3案ほど作成し、再度市民の皆さんに説明し、意見をいただくよう考えております。市民の皆さんへ示す3つの案を本協議会において検討していただきたいと思っております。つきましては、たたき台として3つの案を作成いたしました。この3つの案をより進化させる意見をいただきたいと思っております。

3つの整備計画（案）を資料p 5～7に示します。各の特徴は以下のとおりです。

1案

○商業施設での賑わい案

駅周辺整備の不満理由、駅南に求める施設ともに「商業施設」が特に多い。そのため、商業ゾーンを大きく配置。

既存のJA営農センター及び産直市に加え、約2.3haの商業用地を配置。

2案

○公共施設での賑わい案

建て替えの時期を迎える公共公益施設と公園、現在借地している急患センターを配置。公園には防災機能も加える。公共公益施設が配置される駅の東側には、歩行者通路を確保し、あかがねミュージアムとの一体化を図る。

JA新居浜市については、移転を想定。

3案

○折衷案

公共公益施設と商業施設（約1.3ha）を配置、JA営農センター及び産直市を設ける。

IV. 今後の予定

新居浜駅南地区の整備計画（案）の策定を次のように進めていきたいと考えています。

